



伝統と文化に関する教育の推進

[今後の方向と目標]

これからの国際社会の中で主体性をもって生きていくには、自己がよって立つ基盤にしっかりと根を下ろしていることが必要である。

このため、我が国や郷土の伝統と文化に対する関心や理解を深め、それを尊重し、継承・発展させるとともに、それらをはぐくんできた我が国を愛する態度を養う教育を推進する。

また、学校や地域の文化施設において、優れた舞台芸術の鑑賞や文化芸術活動に参加できる機会を提供するとともに、地域において子どもたちが伝統文化を体験・修得する取組を支援するなど、芸術文化活動を通して豊かな心をはぐくむ教育を推進する。また、文化部活動が個性を伸張し、豊かな情操をはぐくむ上で果たす役割を踏まえ、生徒それぞれの興味・関心に応じて芸術や文化に親しむ態度を養う。

特に、以下の事項を、取組に関することをはじめとした具体的な目標とする。

伝統文化体験フェア……参加者数 1,500人

取組プログラム100：伝統文化体験フェアの参加者数毎年 1,500人

[施策の取組]

オーケストラの演奏を鑑賞する機会を設け、豊かな情操や感性をはぐくむ。

伝統文化を体験することにより、子どもたちに歴史、伝統、文化に対する関心や理解を深め、それらを尊重し、地域を愛する態度を育て、伝統文化を確実に継承・発展させることをめざす。

地域の伝統文化や伝統芸能などを継承、発展させるため、特に青少年に対する教育プログラムの充実や後継者の育成を行うとともに、世代を超えた地域での交流行事を実施するなど、地域ぐるみで伝統文化や伝統芸能の振興を図る。

兵庫県高等学校総合文化祭の各部門別発表会の参加者の増加を図るとともに、新たに総合文化祭に参加する部門数を増やす。

伝統文化の魅力を展示や実演、体験コーナーなどにより県民に紹介し、新たな鑑賞者層や担い手の獲得に努めることにより、伝統文化の振興を図る。

[これまでの主な取組]

高等学校「日本の文化」の全県展開（再掲 p.13）

中学校総合文化祭

中学校及び地域における文化活動の振興に資するために、中学生による音楽・書写・美術・郷土芸能等の文化活動の総合的な発表会を実施する。

兵庫県高等学校総合文化祭

高等学校生徒の芸術文化活動の振興を図るため、全県的な芸術文化活動の発表会を開催する。

青少年芸術体験事業～わくわくオーケストラ教室～

豊かな情操や感性を身に付けさせるために、中学校1年生が、県立芸術文化センターで本格的なオーケストラの演奏など鑑賞会を実施する。

ピッコロわくわくステージ（H22～）

県内の中学生を対象に、希望する学校に対してピッコロシアター（大ホール）において、ピッコロ劇団の公演を実施する。（H22：阪神地域を対象、H23：全県展開）

郷土伝統芸能の継承

伝統ある郷土の文化を後世に伝えていくため、高等学校において郷土伝統芸能の継承を図る部活動を育成する。

伝統文化子ども教室事業

日本の伝統文化のうち、子どもが体験・修得することが適切と認められるもので、民俗芸能、邦楽、地域の年中行事等を実施する。

親子で楽しむひょうご寄席

日本の伝統芸能のエッセンスを楽しく伝えることができる落語を通して、伝統文化の裾野を広げ、また同時に近年失われつつある家族のきずなを確かなものとするため、親子、孫が落語を通して伝統文化に親しむ機会を提供する。

伝統文化体験フェア

伝統文化の魅力を展示や実演、体験コーナーなどにより県民に紹介し、新たな鑑賞者層や担い手の獲得に努めることにより、日本の伝統文化の振興を図る。

県公館伝統文化発信事業

県公館和風会議室において、県民に素晴らしい伝統文化に触れる機会を提供することにより、県民の伝統文化に対する関心を高める。

県民芸術劇場

県内各地において、小・中・高校生をはじめとする県民に、優れた舞台芸術の鑑賞及び参加・体験機会を提供する。

県立ピッコロ劇団ファミリー公演

ファミリーを対象に、演劇を中心とした優れた舞台芸術の鑑賞機会を提供する。